



学校だより

★朝日みどり小学校のホームページ★ <http://midori-e.murakami.ed.jp>

令和4年度 6月号
朝日みどり小学校
村上市中原2726
電話 72-6665 FAX 72-6958

梅雨にも負けず！ 楽しい修学旅行・自然体験教室でした

校長 鈴木 淳

6月は、6年生が9・10日に会津若松方面へ修学旅行に、5年生が14・15日に県少年自然の家で自然体験教室に行ってきました。

6年生の修学旅行は2日目が雨にたたられ、五色沼の散策は雨の中の散策となりました。しかし、予定していた行程は全て順調に進めることができました。5年生の自然体験教室も、オリエンテーリング、カヌー、野外炊さんと全ての活動を行うことができました。

この2年間は、新型コロナウイルス感染症のため、この2つの活動も日程を変更したり活動を縮小したりしてきました。少しずつ教育活動も本来の形を取り戻しつつあります。梅雨時ではありましたが、天候による中止もなく行えたことを心からうれしく感じました。



さて、梅雨の時期になると思い出す詩があります。金子みすゞさんの「ふしぎ」という詩です。

ふしぎ 金子みすゞ

わたしはふしぎでたまらない、黒い雲からふる雨が、銀にひかっていることが。
わたしはふしぎでたまらない、青いくわの葉たべている、かいこが白くなること。
わたしはふしぎでたまらない、たれもいじらぬ夕顔が、ひとりでぱらりと開くのが。

身近に起きる自然現象を不思議と思う観察力のするどさ、あるいは、生物の生命力へのおどろき、いとおしさ、やさしさ、あたたかさが感じられます。子どもは誰もがこの感覚を持って毎日を過ごしているのではないのでしょうか。

この詩には続きがあります。

わたしはふしぎでたまらない、たれにきいてもわらってて、あたりまえだ、ということが。

わたしたち大人は、日々の経験から子どものころに感じていた自然への興味や疑問・感動などが少しずつ薄れてきているのではないのでしょうか。子どもたちの素朴な疑問や感じたことを「当たり前だ」と一蹴するのではなく、常に子どもの感性に寄り添っていかねばと考えています。保護者の皆様も子どもたちの話をよく聞いて、一緒に考えていただければ幸いです。